

逗子市長

桐ケ谷
さとる

逗子の未来を
共につくる



私、桐ケ谷さとるは、逗子市の財政再建を一丁目の一番地として取り組んで参りました。また、予想もしなかったコロナ対応が求められる中、市民の皆様
様の生命や財産を守るための政策や、世代を超えて「逗子っていいね！」と心から感じて頂けるように、活気に満ち、やさしく、笑顔にあふれ、次の世代も安心して暮らせる「ひとづくり、まちづくり」を進めて参りました。今回は、この4年間に取り組んできたことの一部をご報告いたします。

中学校給食を小学校と同じ 食缶方式で完全実施



- ・高齢者の見守り1454世帯へ
- ・高齢者センター浴場再開
- ・18床のグループホーム募集
- ・特養の100床増床を計画
- ・高齢者事業への参加4千人超

地元医師会との関係改善で 逗子に必要な病院を作るため 地域医療シンポジウム開催



実証実験 崖の変位測定とシェアサイクル



危険な通学路への 交通整理員の即時復活！



老朽化した都市公園の 全市的再整備を開始



給付型奨学金制度を開始 年間72万円を5名に給付



池子のがけ早期対応と防災 工事助成を2.5倍に増額



◀ 桐ヶ谷さとり公式ホームページ

発行: 桐ヶ谷さとり
TEL: 046-871-1100 FAX: 046-872-1900
E-mail: info@kirigayasatoru.net

財政再建達成！ネクストステージへ！発信！

第1号

※平成29年当時

市の貯金が一億円を
切りそうになりました

これは
まずい!!

財政調整基金

当時の市長は

今回
急激な財政悪化を
招いた責任を
痛感しています

→前市長

※平成30年当時

お金が
ないから
花火大会
やらないよ
らしいよ

えっ
楽しみに
してたのに

やーダー

市が
やらない
なら

市民の力を
合わせて
やろう!

リスト
バンドや

有料席を
販売して
開催しよう

→桐ヶ谷逗子商工会長

※平成30年6月当時

花火大会当日

たーまやー

よかーたわ

もう財政危機を
引き起こした
今の市長には
任せられない

市長選挙 無投票なら

僕が出る!

桐ヶ谷 伸一

→退任直前の決算額

当選後...

コロナ対応

がけ崩れ対策

財政再建

市の貯金は33.7億円に
なりました

財政再建
達成したよ!

平成29年

平成17年

5.1億円

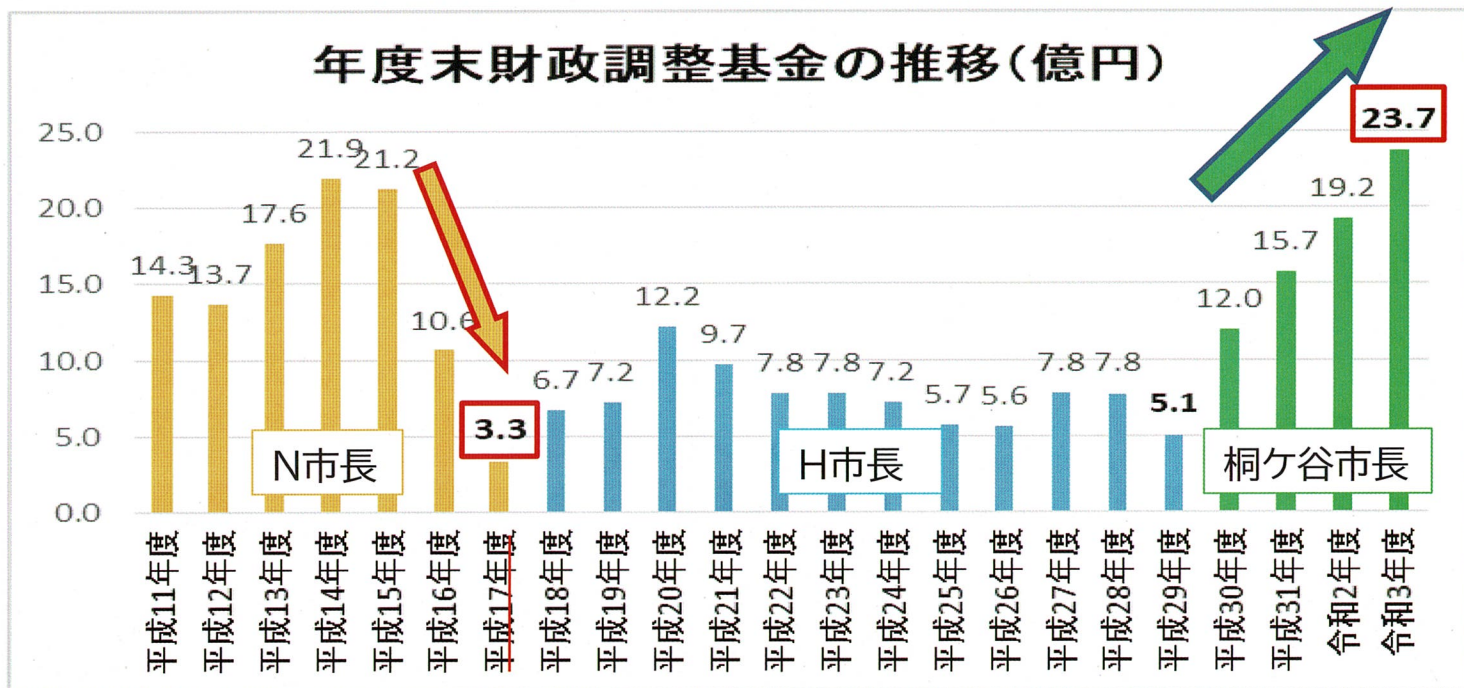
3.3億円

令和3年度末の決算額 ↑

これまでの4年間でやってきたこと

財政再建達成！

市の貯金である財政調整基金がこの30年で過去最高に！老朽化した公共施設修繕のための公共公益施設整備基金を合わせて市の貯金は33億7千万円へ！



平成17年の3.3億円は、この24年で過去最低の金額で平成29年の財政危機の時よりも低く、財政危機の遠因となっています。そのつけは、市民が支払うこととなります。

「起業と企業」で安定財源へ

令和元年にplatform ZUSHI BIZを設置して、120社の参加による情報交換会等を開催。逗子市への本社移転企業も。また、官民連携の補助金など**3900万円を獲得**しました。



夫婦で住み続けたい街ランキング1位に！



逗子広報大使の任命などの影響でメディア取材が増える中、「SUUMOリサーチセンター」が、「住み続けたい街ランキング(関東圏)」の調査結果を2021年10月に発表しました。逗子市は、「夫婦で住み続けたい自治体」と共に「シングル男性が住み続けたい自治体」「シングル女性が住み続けたい自治体」でも1位を獲得しました。「住みたい街」は多くの方が憧れる街で吉祥寺、恵比寿、横浜が常連ですが、今回の調査である「住み続けたい街」はその自治体に**実際に住んでいる**住民の居住継続意向によるものです。